

会 議 録

1 会議名

平成30年度 第7回和田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて（公開）

（2）自主的審議事項 雪を生かした地域づくりの推進について（公開）

3 開催日時

平成31年1月31日（木） 午後6時35分から午後7時10分まで

4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：水澤俊彦（会長）橋本 勲（副会長）、有坂正一、泉 幸雄、市橋邦夫、岩澤 弘、植木泰行、笠原完治、高橋善昭、土屋史郎、前川正治
- ・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、佐藤係長、小林主任

8 発言の内容

【佐藤係長】

- ・秋山委員、小林委員、平原委員を除く11名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は水澤会長が務めることを報告

【水澤会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：土屋委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

—地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて—

【水澤会長】

次に、次第3議題(1)「地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて」に入る。

事務局に資料の説明を求める。

【佐藤係長】

資料No.1～3により説明。

【水澤会長】

事務局の説明に質疑を求めるがなし。

来年度の募集要項及び審査・採択の基本的なルール等について、資料No.1～3のとおりとしてよいか諮り、委員の了承を得る。

次に、自治・地域振興課から、地域協議会会長会議で示された「地域活動支援事業の検証・検討等に基づく見直し方法等」について、地域協議会でどのように検討したかを報告してほしい旨の依頼があった。

事務局に説明を求める。

【佐藤係長】

- ・「地域活動支援事業の検証・検討等に基づく見直し方法等」に示された市の案が8件あったが、それを地域協議会でどのように検討したかということ報告する。
- ・参考資料のとおり指定の報告様式に事務局で案を作成したので、内容を協議してほしい。
- ・市の案を反映するかを改めて協議するものではない。
- ・市では28区の報告内容を取りまとめ、方法は未定だが何らかの形で公表する予定。

【水澤会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

事前に皆さんの意見を聞こうとも思ったが、改正点の照会の際の回答にほとんど意見がなかったので、事務局に案を作成してもらった。

和田区地域協議会の検討結果を参考資料のとおりとしてよいか諮り、委員の了承を得る。

—自主的審議事項 雪を生かした地域づくりの推進について—

【水澤会長】

次に、次第3議題(2)「自主的審議事項 雪を生かした地域づくりの推進について」に入る。

昨年の12月10日に実施した「第2回和田区関係団体との意見交換会」では、実行委員会の立ち上げについて意見を求めた結果、反対は特になく了承を得ることができた。

意見交換会終了後にその場で委員と協議した結果をまとめた。

- ・PTAを中心に実行委員会を立ち上げる。
- ・PTAには正副会長が打診をする。
- ・意見交換会は今回で終了し、今後は立ち上がった実行委員会で内容を練り上げる。
- ・地域協議会委員も一個人として、実行委員会に加わる。

本日は、実行委員会立ち上げのため、私と副会長とで関係団体と協議した結果を報告する。年末年始になり、具体的な話は1月半ば過ぎになった。1回目の意見交換会に出席した大和小学校PTA副会長は、かつてPTA会長を何年かしたことがあるが、その方に実行委員長として大和、和田小学校のPTAを引っ張ってもらえないかと打診した。快諾は得ていないが、PTAが中心になり、子ども達が参加し、保護者が協力し合うイベントにしたいということを伝えた。PTA関係者から実行委員長を出してほしいと話したので、近々実行委員長、副実行委員長を選出しても

らうことになっている。

意見交換会に出したイベント案が全てできるものではないし、地域の子ども達と保護者の皆さんができるようなイベントを検討してもらおうよということ、イベントの企画については、意見交換会に来ていた団体の中で、イベントの企画に精通している脇野田ゆかりの会にある程度の予算額と企画書の作成をお願いした。その企画書を元に実行委員会で内容を検討したいこともPTA関係者に話した。可能であれば、2月半ばくらいに実行委員会を開き、その内容を検討していきたいと考えている。

予算規模についての話もしたが、補助金ありきの予算は、なかなか難しいが、補助金と地元の企業協賛等を含め、300万円程度でできないかと依頼した。実行委員会の立ち上げの際に企画書を提出してもらい、実行委員会の中で検討していきたいと考えている。委員の皆さんも実行委員会に参加してもらえるとということだが、実行委員会にどのような担当を置くか具体的に決まっていけないので、まずは正副実行委員長、PTA関係者、私と橋本副会長で、第一段階、いつ実行委員会をスタートするか、どんな内容の担当部署が必要になるかなどについて検討したい。これを2月半ばくらいまでに決め、実行委員会の日程を委員には連絡したいと思う。途中経過はその辺までだが、この形でよいか。

委員からアドバイスや意見はあるか。

雪イベントについては、最初から大風呂敷を広げて大規模にはできないだろう。まずは地域の子ども達、それから関わりのある地域の皆さんが参加できるイベントからスタートしていければ。今週末はレルヒ祭があり、2月末には灯の回廊もある。その辺りも含めて、一気にできないが、徐々に膨らませていけるようなイベントにできればと思っている。

PTAの話の中で、継続していくためには、リーダーは必要だが、リーダーが毎年代わっても、子ども達を中心とした位置付けにするのであれば、PTA役員の引継ぎの中で、これを継続するというのでやっていけるのではないかという意見をもらった。そこには、私達を含めた地域の方も協力していければと思う。

イベントの開催期日をいつにするかも含め、実行委員会の中で内容を決め、地域

活動支援事業補助金の提案に間に合うよう、準備していきたいと思う。

【前川委員】

確認だが、300万円の予算というのは、補助金だけか、企業協賛も入れてか。

【水澤会長】

企画書を作成する中で、どの程度の予算をかけられるかという話があった。補助金が全てではなく、意見交換会の中でもいくつかの団体から資金協力するという話があり、どれくらいとは言えないが、例えば300万円のうち50万円程度資金調達ができれば、補助金申請額は250万円になると。ただし、地域活動支援事業は他の団体からも申請が出るので、補助金全額をというわけにはいかないというのは、前に皆さんとも話した。最大300万円の予算で、250万円。自己資金が得られれば200万円で済むと思う。今はまだ具体的ではない。

【前川委員】

事業費を300万円と出すのは、早すぎるのではないかという気がした。

【水澤会長】

企画する側からすると、どのくらいの予算かによって、どんなことをするかが決まるので。

【前川委員】

最初は質素にした方がよいのではないかと思う。

【水澤会長】

それについては、実行委員会が立ち上がった段階で、内容を精査して決まると思う。

【前川委員】

了解した。

【笠原委員】

今ほどの話で、よいと思ったのは、PTAがその気になってくれたということ。子ども達の保護者がそう言っているのなら、自由に企画してもらったらどうか。ただ、ガイドラインとして、予算は300万円なら300万円でよいと思う。委員は温かく見守るだけでよいのではないか。それが理想の形だと思う。若い人から引き

出してもらえば、もう一つの自主的審議の期待する効果にも絡むような気もする。

【水澤会長】

笠原委員のとおり、まずは大まかな企画書を作り、それをPTAの皆さんから検討してもらい、手伝いの依頼があった段階で、私達が協力するというこでよいのではないか。

【笠原委員】

例えば協賛金を集めてほしいと依頼されたら、その役目を担えばよい。

【水澤会長】

そういう中で委員からは見守ってもらうこと、どのように会議を開くかを正副会長に一任することについて諮り、委員の了承を得る。今後の経過報告等については、委員に連絡させてもらう。事務局を通じて別途委員に連絡をさせてもらうので、よろしく願いしたい。

【佐藤センター長】

地域協議会の自主的審議の経過報告ということであれば、事務局を通して送付する。

【水澤会長】

実行委員会のものとは違うと思うが、その判断は事務局に任せる。正副会長から委員に依頼することが出てきたら協力してほしい。まずは進捗を見守りながら進めたいので願います。

—事務連絡—

【水澤会長】

「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

- ・今後の日程

3月20日（水） ラーバンセンター

地域協議会活動報告会（地域活動支援事業説明会） 午後6時30分～

第8回地域協議会 活動報告会終了後

- ・事務事業評価の実施について資料No.4により説明

【水澤会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。